



犬・笑・暮だより vol.2

高齢期の犬も快適に過ごせる住まいを！(1)



犬の高齢化が進んでいます

小・中型犬では10歳、大型犬では8歳から高齢犬とみなすのが平均的な考え方です。

最近、獣医学の発達やワクチン接種の普及による感染症の減少、また、飼い主さんの意識の変化、飼育環境の整備などによって犬の寿命もどんどん延びてきています。一般的には、大型犬で10歳前後、小・中型犬で15年前後ですが、なかには大型犬で15年、小・中型犬で20年以上生きる犬もいます。

■ One Point Advice ■

飼育環境によって犬の寿命は長くなる！

一般的に寿命が長いのは、大型犬より小型犬、屋外飼いよりも室内飼い、肥満している犬よりもやせている犬のほうがと考えられています。

屋外飼い < 室内飼い
肥満している犬 < やせている犬

高齢期になると犬はどう変わる？

では、老化によって犬にはどのような変化があらわれるのでしょうか。一般的には、活動性やトレーニング能力の低下、協調性の減退、短期の記憶喪失、性格や行動の変化、睡眠時間の増加などがあります。また、白髪が増える、皮膚にイボやシミができる、あごや口のラインが下がる、筋肉や関節が弱くなる、内蔵機能の低下などの体の変化もみられます。

人間の様にワンちゃんも色々な機能の低下が起こるのです。

その他、生活にもさまざまな支障があらわれ、体温調整がしにくくなる、段差の上り下りが辛くなる、小さな段差につまずく、段差から落ちこちる、モノにぶつかる、トイレを失敗するなど、細かく気を配ってあげる必要がでてきます。

犬にも優しい、バリアフリーならぬ、ユニバーサルデザインが必要です。ユニバーサルデザインとは、障害や年齢、性別に関わらず全ての人にとって使いやすいようにデザインされていることです。人にも犬にも優しいデザインを取り入れていきたいものです。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

